

後期高齢者医療費の自己負担を 2 割にしないことを求める請願書

〔請願趣旨〕

後期高齢者医療費の自己負担を現行の 1 割から 2 割に引き上げられる議論が経済財政諮問会議（内閣府）や財政制度審議会（財務省）ですすめられ、社会保障制度審議会（厚生労働省）でも議論が開始されています。自己負担が 2 割となる計画に対して、高齢者はもとより医療関係団体から慎重な意見が相次いでいます。

戦前、戦後の経済が疲弊した時代に日本経済の発展に寄与し、高度成長を支えてきた高齢者の生活は、社会保障制度の後退で、公的年金の受給額は減少し続け、医療や介護の保険料と医療費は増加して購買力は低下しています。

高齢者は健康で文化的な生活を維持するために、わずかな貯蓄を取り崩して日々の生活を送っています。生活保護基準を下回る高齢者の生活に追い打ちをかけるような医療費 2 割の自己負担は治療を躊躇させて生活と健康に大きな影響を及ぼします。

高齢者が健康で文化的な生活を送るために下記の事項について、意見書を採択し、地方自治法 99 条に基づいて、国会又は政府関係省庁に送付されるよう請願します。

〔請願事項〕

- 1 後期高齢者医療費の窓口負担を 2 割にしないでください。

令和元年 5 月 23 日

半田市議会議長 石 川 英 之 殿

半田市柁町 5－8－13
全日本年金者組合・愛知県本部
半田支部長 久 礼 憲 一